

体罰に係る実態把握について(文部科学省調査の第2次報告等)

平成25年1月23日付けで文部科学省から依頼があり、調査を実施した「体罰に係る実態把握」の第2次報告について、全道分を取りまとめたので報告する。

また、併せて道独自に調査した外部指導者等に係る暴力の状況について、調査結果を取りまとめたので報告する。

I 文部科学省調査の第2次報告に係る調査結果概要

1 調査対象等について

平成24年度に発生した体罰に関し、道立学校及び札幌市を除く市町村立学校(道立学校270校、市町村立学校1,533校)の教職員、スクールカウンセラー、保護者、並びに中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校中等部・高等部の生徒を対象に、体罰の有無等についてアンケート調査を実施し、調査対象数約61万人のうち、約42万人から回答を得た。

2 報告項目等について

(1) 報告項目

アンケート調査をもとに新たに把握した体罰の件数及び被害を受けた児童生徒数、体罰が行われた場面、体罰の態様、被害の状況、把握のきっかけ等。

(2) 報告概要

別紙のとおり。

※平成24年度中に発生した体罰件数

	第1次報告	第2次報告	合計
体罰件数	15件	75件	90件

3 今後の対応

今回把握した体罰に対しては、詳細に事実関係を調査した上で、厳正に対処する。

II 外部指導者等に係る暴力の状況(道独自調査)

道立高等学校において、1件確認された。